

□「**学び方ガイド**」について

ー 学びの「**地図とコンパス**」として ー

私たち教員が特別支援教育に取り組む際、現在の国際社会の潮流である「**社会モデル**」という障害観は、ぜひ理解しておきたい考え方の一つです。それは、私たちの子どもへの関わり方次第で、現在ある障壁を小さくしたり、子どものもてる力を最大限に伸ばしたりする可能性が広がるからです。

「**社会モデル**」

障害児・者が日常生活または社会生活において受ける制限は、障害により起因するものだけでなく、社会における様々な障壁と相対することによって生ずるものという考え方

障害があるとは…  
「障害及び社会的障壁により、継続的に日常生活または、社会生活に相当な制限を受ける状態にあること」  
「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」より

この「社会モデル」を踏まえ、特別支援教育は子ども一人ひとりの教育的ニーズを的確に把握し、適切な指導と必要な支援を進めることで、子どもの可能性を最大限に伸ばすことをめざしています。

しかし、「特別支援教育について何をどのように学び、何から身に付けていけばよいのだろう…」、「特別支援教育の指導や支援の技術を身に付けてからでないと、指導（支援）できないのでは…？」と思う先生もいらっしゃるかもしれません。

そこで、先生方が特別支援教育の学びの「地図とコンパス」となる「**学び方ガイド**」を活用して、  
**自身のキャリアに合わせて、特別支援教育の研修を重ねることで、**  
**子ども一人ひとりの教育的ニーズに的確に応える指導を進めることができる。**  
そんな思いを込めて、このガイドを作成しています。

□「**山口県教員育成指標**」について

ー 自身のめざす目標として ー

本県では、「山口県教員育成指標」を策定し、先生方がこの育成指標を活用することで、自らの良さと課題を踏まえ、次にめざす自身の目標を設定し、研修等を通じてその資質・能力の向上を図ることを想定しています。

育成指標の中で特別支援教育は、「特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応に関すること」の項目として位置づけられ、キャリアステージ別、職務別（教諭、養護教諭、栄養教諭、教頭・部主事、校長・副校長）に指標が示されています。

【確かめてみましょう】  
山口県教員育成指標

【確かめてみましょう】  
特別支援教育に関する育成指標一覧（職務別）

| キャリアステージ | ステージ1「実践」           | ステージ2「協働」                        | ステージ3「リーダーシップ」                |
|----------|---------------------|----------------------------------|-------------------------------|
| 研修課題     | 基本的な資質能力や社会性・人間性の育成 | 学習指導、生徒指導、学級経営、公務等に関する実践力や専門性の向上 | 中堅教員としての専門的スキルや指導力、マネジメント力の育成 |
|          |                     | 中堅リーダーとしての専門性の深化、マネジメント力の充実      | 専門的指導力の充実<br>学校運営・経営力の充実      |
|          |                     |                                  | 発展                            |

〔令和5年3月 山口県教育委員会「令和5年度山口県教員研修計画」山口県教職員研修体系より一部抜粋〕

特別支援教育の学び方はいろいろ！  
「**学び方ガイド**」の活用を提案します。

校内での学び

先輩から学ぶ。  
同僚から学ぶ。

特別支援学校  
センター的機能の活用

地域コーディネーター等から学ぶ。

日々の授業の中で、配慮と支援を必要とする児童生徒に気付いたら…

授業中、何か困ったことがあるみたい。一体何に困っているのだろうか。どんな手だてを講じたらいいのだろうか。

校外研修への参加  
・やまぐち総合教育支援センター 専門研修  
・特別支援教育推進室主催研修  
・各市町教育委員会主催研修  
・特別支援教育センター等主催研修  
**オンデマンド研修の活用**  
・県教委「特別支援教育研修パッケージ」  
・国立特別支援教育総合研究所「学びラボ」 他

「**学び方ガイド**」を活用して  
学習情報から気軽に学ぶ。

講師等から学ぶ。  
参加者同士で学ぶ。

「**学び方ガイド**」の見方

▲ 一人ひとりへの的確な理解と多様な学びの場における教育

☆子どもの行動の『背景』について学びたい。  
☆交流及び共同学習や通級による指導の具体的な実践事例が知りたい。等

学びのキーワード

① 特別支援教育を取り巻く状況  
② 交流及び共同学習の推進・障害理解  
③ 特別支援学校及び通級による指導の制度  
④ 発達障害の特性の理解と対応

学びのポイント

子どもの心に寄り添い、一人ひとりの最適な学びを引き出す力を高めよう

【交流の側面】  
相互の離れ合いを  
通じて豊かな人間性  
を育むこと

【共同学習の側面】  
教科等のねらいの  
達成を目的とすること

学びの手がかり

子どもの心に目を向けるがデジタル行動支援  
ーASD指導事例集ー  
【令和4年3月】  
「よいよい」交流及び共同学習を  
進めるために  
【平成28年3月】  
高等学校等における  
「通級による指導」ガイドブック  
【令和2年3月】  
・自閉症の特性や基本的な対応について理解を深められます。  
・指導方針検討のヒントが得られます。  
・事例検討における指導の評価・改善の参考にできます。  
・交流及び共同学習の意義や、進め方が学べます。  
・学校間交流や地域交流など様々な実践例を学ぶことができます。  
・合理的配慮の提供についても学ぶことができます。  
・通級による指導について具体的な実践事例等で示されています。  
・自立活動の指導のポイントや留意点等を学ぶことができます。  
・関係者との連携や連絡支援についても詳しく学ぶことができます。

校内での学び方（例）

○ 特別支援教育を取り巻く状況について学校や地域の現状や課題を先生方と協働にしてみよう。  
○ 子どもの行動の「背景」について考え、先生方と話し合ってみよう。  
○ 校内で行われている交流及び共同学習を参観してみよう。  
○ 特別支援学校や通級による指導に参画してみよう。（交換授業など）

めざす目標（山口県教員育成指標、ふる）

| ステージ1                                     | ステージ2                                      | ステージ3                                       |
|-------------------------------------------|--------------------------------------------|---------------------------------------------|
| ○ 障害等により困難を示す児童生徒の理解や、その背景を理解し、適切に対応している。 | ○ 児童生徒の障害者理解を深めるための実践を参観し、校内への普及・継承を進めている。 | ○ 児童生徒の障害者理解を促進するための実践を参観し、校内への普及・継承を進めている。 |

特別支援教育に取り組むために、身に付けておきたい内容をキーワードで、示しています。

キーワードの内容を学ぶ際、全ての先生方に知っておいていただきたい、特別支援教育のエッセンスを「**学びのポイント**」として示しています。

キーワードの内容を学びたいと思われた時、ピットリな県教委発行のガイドブックをいち早く見つけ、お手元のタブレット端末等で閲覧できるよう**二次元コード**と概要を示しています。

キーワードの内容を、校内のどのような場面で、どのような方法で学べるのか、具体的な例を示しています。

「教員の学び方ガイド（試案）」の問い合わせ先：山口県教育庁特別支援教育推進室  
〒753-8501 山口県山口市滝町1番1号 電話 083-933-4615 FAX 083-933-4619

特別支援教育に取り組む先生方をサポートする

教員の**学び方ガイド**（試案）

【本ガイドのおすすめポイント】

☆ 特別支援教育に取り組むために身に付けておきたい内容を、3つの観点（A 一人ひとりへの的確な理解と多様な学びの場における教育、B 教育的ニーズに応じた指導・支援、C 校内支援体制・連携協働）と13の「学びのキーワード」で示しています。

☆ 「学びのキーワード」の理解を深めるための手がかりとして、お勧めしたい県教委のガイドブックを二次元コード付きで紹介しています。

一人ひとりの色が合わさって  
彩りにあふれた輝きを引き出すために

令和6（2024）年3月  
山口県特別支援教育教員育成検討協議会